©Meiro Koizumi

自治区2021　分断の時代に vol.1

小泉明郎
縛られたプロメテウス

第24回文化庁メディア芸術祭アート部門大賞受賞作品
ギリシャ悲劇を題材に、人類とテクノロジーが向かう近未来を考える
リアルとバーチャルの接点を探る、VR演劇の挑戦

公演名	小泉明郎　縛られたプロメテウス
公演日時	2021年12月11日(土)、12日(日)、17日(金)、18日(土)、19日(日) ※時間は「公演スケジュール」を参照
会場	金沢21世紀美術館 展示室13
上演時間	60分
上演言語	日本語(英語字幕)
定員	各回12名
対象年齢	13歳以上(ヘッドマウントディスプレイを使用するため)
チケット料金	一般: 2,000円(1,800円)　65歳以上: 1,500円(1,200円) 25歳以下: 1,000円(800円)　高校生以下(13歳以上): 500円(400円) ※( )は前売料金
チケット取扱い	Peatix　(当館WEBサイト事業ページより)
問い合わせ	金沢21世紀美術館交流課　TEL076-220-2811

本資料に関するお問合せ　金沢21世紀美術館
事業担当:黒澤、中田、池田、木村　広報担当:齊藤、石川、落合
〒920-8509　金沢市広坂1-2-1
TEL 076-220-2814　FAX 076-220-2802
https://www.kanazawa21.jp　E-mail: press@kanazawa21.jp

概要

金沢21世紀美術館の長期プログラム「自治区」は、美術に限らず科学、歴史、社会学など、学際的に他の領域を横断しつつ、年間を通してライブ、映像上映、トークシリーズ、滞在制作、身体表現など多様なプログラムを継続的に実施してきました。外部コミュニティとの連携・協働を通じて、これまでの美術の領域を超える実験的な活動を行っています。
〈自治区2021 分断の時代に〉は、小泉明郎と高山明によるプロジェクトを、2回シリーズでご紹介します。行きすぎた市場経済を背景に効率と競争の社会が加速化し、人々の間に格差・対立と分断を生んでいる現代。コロナ禍によって顕在化した制度のひずみや行き場のない感情のたまった現実について、私たちはどのような態度で向き合えば良いのでしょうか。2人のアーティストのプロジェクトを通して、自分ごととして考える機会となる場を開きます。

作品について

小泉明郎　縛られたプロメテウス

第24回文化庁メディア芸術祭アート部門大賞受賞作品

リアルとバーチャルの接点を探る、VR演劇の挑戦

国家・共同体と個人の関係、人間の身体と感情の関係について、現実と虚構を織り交ぜた実験的映像やパフォーマンスで探求する小泉明郎。ギリシャ悲劇『縛られたプロメテウス』を起点に、参加者が自分とは異なる「他者」の感覚や感情を追体験する、VRを使った同名の演劇作品「縛られたプロメテウス」(あいちトリエンナーレ2019委嘱作品)を発表しました。
VRに現れるイメージを見ながら「彼」が幼少時の幸福な思い出を話す声に耳を傾けると、「彼」は次第に自分の体が動かなくなり、マシンと一体化することで「声」を失わずに生きていること、絶望を救う希望について語り始めます。ゼウスから火を盗み、人間に与えた罪によって永遠の受刑を強いられるプロメテウスの物語は、人類にとって最強のテクノロジーとなった「火」を得た後の絶望と希望であり、小泉明郎による「縛られたプロメテウス」の「彼」の語りと共振して立ち現れます。我々は「彼」と共に、どのような光景を見ることになるのでしょうか。

『縛られたプロメテウス』
構成・演出｜小泉明郎

出演｜武藤将胤
技術提供｜ABAL

脚本｜武藤将胤 & 小泉明郎
VRアニメーション・効果｜谷口勝也（Rhino Studios）
VRマネージメント｜野村つよし

撮影ディレクター｜森内康博
照明｜杉本 篤
録音｜藤口諒太
撮影助手｜中村 碧
演出助手｜小山 渉
技術監督｜尾﨑 聡
舞台監督｜河内 崇

キュレーター｜相馬千秋
制作統括｜藤井さゆり
制作｜小森あや (TASKO inc.)

製作｜あいちトリエンナーレ2019、小泉明郎

金沢21世紀美術館公演

演出助手｜小山渉
VRマネジメント｜野村つよし
舞台監督｜尾崎聡、山下恵美（RYU Inc.）
制作｜藤井さゆり（NPO法人 芸術公社）
制作アシスタント｜谷口裕子（NPO法人 芸術公社）
ツアー制作｜NPO法人 芸術公社
協力｜一般社団法人WITH ALS、無人島プロダクション

舞台｜Office BLANCA
設営 / テクニカルサポート｜スーパーファクトリー株式会社
グラフィックデザイン｜木村稔将
WEB製作｜北口加奈子
スティル撮影｜池田ひらく

企画 / チーフキュレーター｜黒澤浩美（金沢21世紀美術館）
キュレーター｜中田耕市、池田あゆみ（金沢21世紀美術館）
エデュケーター｜木村健（金沢21世紀美術館）
広報｜齊藤千絵（金沢21世紀美術館）

アーティスト・プロフィール

小泉明郎 | こいずみ めいろう

©Meiro Koizumi

1976年群馬県生まれ。国家・共同体と個人の関係、人間の身体と感情の関係について、現実と虚構を織り交ぜた実験的映像やパフォーマンスで探求している。これまでテート・モダンのBMWテート・ライブや上海ビエンナーレ、シャルジャビエンナーレ等、多数の国際展等に参加。

個展としては「Projects 99: Meiro Koizumi」(ニューヨーク近代美術館、2013)、「捕われた声は静寂の夢を見る」(アーツ前橋、2015)「帝国は今日も歌う」(Vacant、2017)、「Battlelands」(ペレス美術館、マイアミ、アメリカ合衆国、2018)等を開催。VR技術を使った作品では『サクリファイス』(MMCAソウル、韓国、2018)、《縛られたプロメテウス》(あいちトリエンナーレ2019)がある。2021年《縛られたプロメテウス》で第24回文化庁メディア芸術祭アート部門大賞を受賞。カーディフ国立博物館Artes Mundi受賞。

公演スケジュール

12月11日(土)

13:00/13:30/14:00/14:30/15:00/15:30/16:00/16:30/17:00/17:30

12月12日(日)

13:00/13:30/14:00/14:30/15:00/15:30/16:00

12月17日(金)

18:00/18:30/19:00

12月18日(土)

13:00/13:30/14:00/14:30/15:00/15:30/16:00/16:30/17:00/17:30

12月19日(日)

13:00/13:30/14:00/14:30/15:00/15:30/16:00

定員：各回12名　　上演時間：60分

※対象年齢：ヘッドマウントディスプレイを使用するため13歳以上の方に限ります。

※各回開始10分前までに受付にお集まりください。

※新型コロナ感染防止についての注意事項をご説明の上、入場となります。途中入場はできません。

※新型コロナウイルス感染状況によっては開催内容に変更が生じる場合があります。

・喉の痛みや発熱など体調のすぐれない場合はご来場をお控えください。

・美術館入館時に検温とマスク着用チェックがあります。

チケット取扱い

Peatix(右記二次元バーコードよりアクセス)

【予約内容の変更・キャンセルについて】

※チケット購入完了後の日時の変更およびキャンセルはお受けできませんのでご注意ください。

※入場の際に年齢のわかるIDを確認しますのでお持ちください。

※前売り券は前日23:55まで、当日券は各公演10分前まで販売します。

関連プログラム

特別配信プログラム

小泉明郎氏と津田大介氏のアーティスト・トーク対談を金沢21世紀美術館YouTubeチャンネルにて配信しています。

「縛られたプロメテウス」は、津田氏が芸術監督を務めた「あいちトリエンナーレ2019」委嘱作品です。初演から3年が経過し、今現在、本作品をどのように観るのか。過去、現在、未来について、解像度を上げた視点で私たちの生きる時代について語ります。

アーティスト・トーク　小泉明郎 × 津田大介

配信：金沢21世紀美術館公式YouTubeチャンネルにて公開中

（右記二次元バーコードよりアクセス）

関連プログラム ゲストプロフィール

津田大介 | つだ だいすけ

1973年生まれ　東京都出身。早稲田大学社会科学部卒。

ジャーナリスト / メディア・アクティビスト、ポリタス編集長 / ポリタスTVキャスター、大阪経済大学情報社会学部客員教授。

メディアとジャーナリズム、テクノロジーと社会、表現の自由とネット上の人権侵害、地域課題解決と行政の文化事業、著作権とコンテンツビジネスなどを専門分野として執筆・取材活動を行う。主な著書に『情報戦争を生き抜く』(朝日新書)、『ウェブで政治を動かす!』(朝日新書)、『動員の革命』(中公新書ラクレ)、『情報の呼吸法』(朝日出版社)、『Twitter社会論』(洋泉社新書)ほか。2011年9月より週刊有料メールマガジン「メディアの現場」を配信中。

3

広報用画像

画像1〜3を広報用にご提供いたします。ご希望の方は下記をお読みの上、広報課へお申し込みください。

画像お申し込みフォーム ▶ https://www.kanazawa21.jp/form/press_image/

[使用条件]

※トリミングはご遠慮ください。作品が切れたりキャプション等の文字が画像にかぶったりしないよう、レイアウトにご配慮ください。

※情報確認のため、お手数ですが校正紙を広報課へお送りください。

※アーカイヴのため、後日、掲載誌（紙）、URL、番組収録のDVD、CDなどをお送りください。

以上、ご理解・ご協力のほど、何とぞよろしくお願いいたします。